



(1) 緑友ハーモニー26年度運営体制

幹事長: 小林 力 (5回生)

幹事楽譜係: 岡真理子 (14回生)

幹事会計係: 清水あつ子 (14回生)

パートリーダー: 矢島多恵子 (ソプラノ)、佐藤睦子 (アルト)

河野通久 (テナー)、上田昌紀 (バス)

(2) 今後の練習日程

1月16日 (金)	13:00 ~ 15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
1月16日 (金)	15:30 ~ 16:30	ミニ総会: 中央町社会教育館・102号研修室
1月23日 (金)	10:00 ~ 12:00	緑ヶ丘文化会館・レクホール (本館3階)
2月20日 (金)	13:00 ~ 15:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室 (別館2階)
2月20日 (金)	15:30 ~ 16:30	話し合い 緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室 (別館2階)
2月27日 (金)	10:00 ~ 12:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室 (別館2階)

3月6日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
3月13日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
4月17日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
4月24日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
5月8日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
5月22日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
6月12日(金)	10:00～12:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室(別館2階)
6月19日(金)	13:00～15:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室(別館2階)
7月10日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
7月24日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
8月14日(金)	お盆休み	
8月28日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクホール 男性: 12:30から
9月11日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
9月25日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクホール 押見先生ご指導
10月9日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
10月16日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
10月30日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月6日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月13日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月20日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月27日(金)	午前	リハーサル 小山台会館2階音楽室
11月27日(金)	午後	コンサート 小山台会館3階大ホール
12月4日(金)	11:30～14:00	コンサート打上げ/クリスマス会 田園調布倶楽部

註1: 表中下線の日は奇数週金曜日です。ご注意ください。

註2: 今年もコンサートを11月27日に小山台会館で開催します。

註3: 10月、11月はコンサートに備えて月3回の練習になります。

註4: 今年のクリスマス会はコンサートの打ち上げを兼ねて12月第1金曜日(12月4日)に昔ながらの田園調布倶楽部で11:30から14:00まで開催します。

(3) 小林美代子先生ご逝去

コバ先生と親しまれた緑友ハーモニーの創立者で長年ご指導いただいた小林美代子先生が8月17日にお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

コバ先生の薫陶を受けられた方は今でも緑友ハーモニーに10人ほどおられます。その方達にはぜひコバ先生を偲んで哀悼の言葉を寄せていただきたいと思います。長さは問いません。数行でも長くても構いません。9月の中旬に緑友ハーモニーのコバ先生追悼特別号を発行いたしますので、9月13日までにメールに添付して小林までお送りください。パソコンを使われない方は9月11日の練習の時に紙面でご提出ください。よろしくお願いいたします。

(4) コンサートとクリスマス会

今年もコンサートを開催します。日時は11月27日午後、会場は昨年ミニコンサートを開催した小山台会館3階大ホールです。曲目の中ではヴィヴァルディの見た日本の四季が目玉で、ヴァイオリン奏者も加わってくださるそうです。

クリスマス会はコンサートの打ち上げを兼ねて、通常より1週間早めて12月の第1金曜日4日に幸い再開した田園調布倶楽部2階で11:30から14:00まで開催します。

(5) 9月号のひまつぶし

宮田大の八ヶ岳チェロ・リサイタル

小林 力

7月16日に八ヶ岳音楽堂へ宮田大のチェロ・リサイタルを聴きに行った。ご存知の方もおられると思いますが、八ヶ岳音楽堂は森の中にひっそりと佇む250席ほどの小さなホールで、大きなガラス窓越しに木々の緑を楽しみながら、音楽に浸る至福の時を与えてくれる贅沢な会堂です。

過去には世界的に有名な演奏家が繰り返し来館している。2、3、例を挙げると、ソビエト連邦時代のピアノの巨匠スヴィヤトスラフ・リヒテルは4回、ウラジミール・アシュケナージは2回、チェロのミッシェル・マイスキーも4回、などと枚挙にいとまがない。

さて、今回のコンサートのプログラムは、ピアノ伴奏が長年の名コンビジュリアン・ジェルネで、前半がフランスの作曲家から、

サン＝サーンス: 白鳥

フォーレ: 5つの歌
秋 / 蝶々と花 / ゆりかご / 愛の歌 / マンドリン

サン＝サーンス: チェロ・ソナタ第1番 ハ短調 作品 32



休憩を挟んで、後半は
アメリカの作曲家から、

ガーシュウィン: パリのアメリカ人

ジョン・ウィリアムス: John Williams Fantasy Trip (山中惇史 編)

宮田大の経歴については前の ひまつぶし でも紹介したが、3歳からチェロを始め、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業、2009年ジュネーブ音楽院卒業、それまで出場したコンクールでは第74回日本音楽コンクールを皮切りに全てで第1位、2009年権威のあるロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで日本人初優勝、一躍スターダムにのし上がった。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。

さて、1曲目のサン＝サーンスの「白鳥」だが、組曲「動物の謝肉祭」の第13曲にあたる。ただ、この組曲は他の作曲家の作品のパロディが含まれていることもあり、サン＝サーンスは生前、完全なオリジナルの「白鳥」以外は公開演奏や出版を禁止していたことはよく知られている。この「白鳥」はヴァイオリンや様々な楽器で演奏されるが、何と言ってもチェロで弾くのが最も相応しいと思う。宮田大のチェロの美しさが際立っている。

ガブリエル・フォーレはサン＝サーンスの教え子である。これらの曲は、1845年生まれ of フォーレの30代の作品でロマンティックな表現に溢れてい

る。後年は瞑想的になり、聴覚障害に悩まされた後期の暗さを持った作品と一線を画す。

サン＝サーンスのチェロ・ソナタ第1番はハ短調で書かれた力強い情熱的な作品である。しかし、宮田大がヨーロッパ・ツアーの時にここ曲をフランスで演奏したときに大部分の聴衆がこの曲を知らなかったことに驚いたと、ステージの解説で語っていた。

後半はまずアメリカの代表的作曲家ジョージ・ガーシュウインの「パリのアメリカ人」だ。ガーシュウインはニューヨークでユダヤ系ロシア人の移民の家庭に生まれ、ジャズやブルースとクラシックの要素を組み合わせた幅広いジャンルで多くのヒット曲を生み出していた。この曲の原曲は、ニューヨーク・フィルの委嘱のもと1928年に発表されたオーケストラ曲。自身が1920年にパリで過ごした経験に基づき、音楽で活気あふれたパリの街を再現している。

最後の曲は、20世紀後半から21世紀にかけて一世を風靡している大作曲家ジョン・ウィリアムズの映画音楽の代表作の数々を、ピアニストで作曲家の中山惇史が華やかなメドレー作品として、宮田のチェロと山中のピアノによる演奏のために編曲した作品である。お馴染みの映画「ジョーズ」「ホーム・アローン」「E.T.」「スター・ウォーズ」「ハリー・ポッター」「インディ・ジョーンズ」「1941」の音楽が次々と登場する楽しい作品だ。

ちなみに、ジョン・ウィリアムズは指揮者でもある。彼はボストン・ポップスを1980年から1993年まで指揮し、94歳の今に至るまで桂冠指揮者を務めている。ボストン・ポップスの母体はボストン・シンフォニーである。ウィリアムズは、丁度小澤征爾が1974年から29年の長きにわたってボストン・シンフォニーの音楽監督をしていた時に大変親密な関係にあり、小澤征爾から指揮の手ほどきを受けたと語っている。2023年9月に小澤の招きでセイジ・オザワ 松本フェスティバルでサイトウ・キネン・オーケストラを指揮、演奏会のカーテンコールの時に小澤征爾が車椅子でステージに現れ、ウィリアムズと握手をした場面をテレビで見て感動した。小澤はその翌年の2月6日に88歳で他界している。

宮田大とはコンサート終了後、親しく話をする機会を得た。4月19日の大原美術館におけるジュピター・カルテットのギャラリー・コンサート以来の再会である。